

研究課題名：	病院環境および入院患者の臨床検体より分離された緑膿菌の関連性について
所属(診療科等)：	公立昭和病院 臨床検査科
研究責任者(職名)：	羽田 牧子 (主任)
研究期間：	2019年11月29日～2021年12月31日
研究目的と意義：	<p>多剤耐性緑膿菌等によるアウトブレイクは、病室内環境、特に水回り環境を介しての伝播が報告されている。特にNICU, ICUなど、免疫不全患者の多い部門で問題となる。</p> <p>一般的に緑膿菌は病原性が低く日和見病原体として知られているが、抗菌薬に対する抵抗性は他の菌と比較すると高く、特にバイオフィルムを形成するとさらなる抗菌薬への抵抗性に加えて、免疫機構に対しても抵抗性に働く。緑膿菌によるバイオフィルム感染症は難治化を招くことから、治療上の大きな問題となる。</p> <p>本研究は、定期的実施している病室内の環境調査を行い、患者と環境から得られた分離菌株の関連性を調査することで、主に薬剤耐性傾向のある緑膿菌の院内伝播を防ぐことを目的とする。</p>
研究内容：	<p>●対象となる患者さん 2019年1月1日以降に入院した患者</p> <p>●利用するカルテ情報 【患者基本情報】入院日、転室、転床情報 【検査データ】一般細菌培養同定、感受性検査結果 緑膿菌分子疫学的解析結果</p> <p>●研究方法 当院において、2019年1月1日以降に提出された臨床検体から薬剤耐性傾向のある緑膿菌が分離された患者の入院歴を患者診療情報から調査する。また、定期実施されている病室内の環境調査から分離された薬剤耐性傾向のある緑膿菌株と臨床検体から分離された薬剤耐性傾向のある緑膿菌株との関連性を、薬剤感受性率やPCR-based ORF Typing (POT 法) を用いて検証する。</p> <p>●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院</p>
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】 氏名：羽田 牧子 (臨床検査科・臨床検査技師) 住所：小平市花小金井8丁目1番1号</p>

電話：042（461）0052（代表） FAX：042（464）7912
【ご意見・相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）
総務課 042（461）0052 内線 2247
受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）